

# 滝ダムからこんにちは

～久慈地方振興局土木部 滝ダム管理事務所～

滝ダムでは、約100本の「こいのぼり」がダム下流の広い空間で、悠々と泳いでいます。

このこいのぼりは、平成7年12月に発足した『滝ダム周辺環境美化協会』がボランティアで設置しており、今年で約10年目を迎えました。

こいのぼりには、胴体全体に近所の幼稚園児が書いた絵をたくさん貼り付けた大型の作品もあり、ダム周辺では日々この絵を描いたであろう子供さんが、家族と語らう姿が見え、ほのぼのとした風景が広がっています。



『滝ダム周辺環境美化協会』の会長からは、川底からワイヤーロープまで約50mもの高低差があり、設置当初は吹き上げる風により、こいのぼりがワイヤーに絡まったとのことで、「種々その対策を考え、5年がかりで、ある幅のネットを、ロープに沿って張ることにより、その状態がほぼ改善されることを究明した。」との話がありました。

会長に「マスコミなどに積極的に広報しないのですか」と質問したところ、「自分達が好きなことを一生懸命行うだけで良いんです」との答えが返ってきました。

久慈市出身の当ダム管理事務所の総括主査は、「私にはわかります。久慈市民には少し控えめなところがあるんです。」との声もあり、着任1箇月目の当職としては、対応には注意が必要かな、との思いも感じているところです。



ボランティアによる作業

泳げ 泳げ



滝ダムでは、遅い桜が今咲きほこり、これから深まるみどりと、それを映すダム湖面とのコントラストに、いやがおうでも期待が膨らみます。

滝ダムのテーマを「おもてなしの心」としました。誰にでも、行ってみたい。覗いてみたい。立ち寄ってみたい。遊んでみたい。等等……。感じていただけるダムにしたいからです。

(文：滝ダム管理事務所長)